

くわな 駅西まちづくり ニュース 2012年5月第64号

第43回 駅西まちづくりの会を開催しました

3月21日に開催した第43回駅西まちづくりの会には、約20名の地権者の方にご出席いただき、事業の進捗状況、仮換地指定や建物移転補償件数、地区計画の手続きの進捗状況等について報告しました。

また、これから建物移転が本格化していく中で、近年関心の高い環境に配慮した住宅や高齢者にやさしい住宅について事例紹介しました。

環境に配慮した住宅では、太陽光、太陽熱を利用した住宅用環境設備、生ごみの堆肥化や雨水の利用等環境に対して積極的に取り組んでいる事例について紹介をし、バリアフリー対応では、玄関や廊下、浴室等を設計する際のポイントを紹介しました。



第43回駅西まちづくりの会の様子



駅西まちづくりの会

●環境にやさしい住まいをつくろう！

土地区画整理事業は地球環境に大きな負荷がかかる事業です。だからこそ地域全体で環境にやさしいまちづくりを進める意義があります。

住まいづくりでも、いろいろな工夫によって環境にやさしい住まいをつくることはできます。

● 設計で工夫

- 風の通り道を考えた設計をしましょう。自然の風を積極的に取り入れた住まいは、エアコンなどの冷暖エネルギーを節減することができます。

● 植樹で工夫

- 建物の影には、高層の風通しを確保しましょう。夏は日射を遮り、冬は太陽光を室内に取り込みます。

● 設備で工夫

- 住宅に活用されている自然エネルギーは、太陽光、太陽熱、自然風などがあります。また、資源物の削減を図る生ゴミ処理システムは異なる処理にどまらず有機肥料にリサイクルするものがあります。
- 水資源の有効利用としては、雨水を貯水し散水するものと、浴槽の残り湯を浄化してトイレに再利用するシステムがあります。
- 比較的利用が多くなってきたものに断熱サッシやペアガラスがあります。冷暖房効果を高めるばかりでなく、冬の暖房時でも結露の発生を抑え、室内環境を守ります。

◆事業の進捗状況

- ・ 仮換地指定状況については、今年の2月20日付けで全ての仮換地指定が完了しました。
- ・ 事業期間については、当初平成26年度末を予定していましたが、昨年8月に事業計画の変更を行い、10年の延伸（平成36年度末まで）をしました。
- ・ 工事については、先行建設街区において平成23年4月に21件の使用収益を開始しました。現在は4軒が入居されており、5軒が工事中です。
- ・ 建物の移転補償については、対象住戸約440件のうち平成22年度までに約90件行い、平成23年度は10件の補償を行いました。

これらの説明に対して以下のご質問ご要望が出されました



Q：事業期間はなぜ延びたのでしょうか。

A：用地取得や仮換地の個別供覧に予想以上の時間がかかったためです。



Q：地区ごとの移転計画のスケジュールはいつ頃教えていただけますか？

A：平成24年度早々に計画を立て、10～11月ごろには皆様に大まかではありますが、提示できるよう考えています。



Q：現在先行建設街区には街路灯がないため真っ暗です。街路灯はいつ設置していただけますか？

A：平成24年度中には設置させていただきます。設置から1年間は市で管理をしますが、その後は自治会に管理をしていただきます。



◆編集・発行／駅西まちづくりの会 株式会社連空間設計

このニュースの感想やお問い合わせ等がありましたらお気軽に下記までお寄せください。

◆事務局／桑名市都市整備部 桑名駅周辺整備事務所

TEL：(0594) 24-1368 FAX：(0594) 24-6338